



# カクレトミヨの生態調査について

東根学館高等学校2年 10班

## 要旨

東根市役所や地域の方々、山形大学の教授が行っているカクレトミヨの保全活動や個体数調査に参加し、カクレトミヨの生態や現状について理解を深める。また、地元地域の方々から、その存在や理解を深めてもらうための広報活動について考える。

## 1. 研究背景・目的・仮説

私達は、東根市小見川に生息し、**絶滅の危機に瀕している**県の天然記念物・カクレトミヨに興味を持った。カクレトミヨの保全は地域の湧水が豊富な水域の生態系維持において重要であるため、その保全活動に関わっていきたくと考え、この研究を行った。具体的には、地域で行われているカクレトミヨの保全活動に参加し、カクレトミヨの生息の現状を理解するように努めた。このような活動に参加することで、これからの私達の研究・広報活動にも活かすことができると考えた。

### ・カクレトミヨの概要

学名→Pungitius modestus

トゲウオ目トゲウオ科トミヨ属

水温→通年14℃±1℃

小見川の水源→地蔵沼(湧き水)

主食→成魚…ヨコエビ類 稚魚…ユスリカの幼虫など

繁殖期の特徴→オスの体の色が黒色に変化

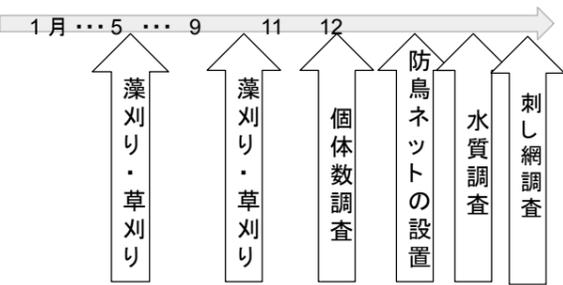


## 2. 調査方法

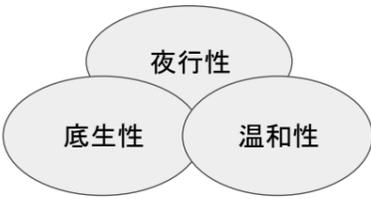
- ・東根市役所、大富小学校を訪問し、調査を行う
- ・カクレトミヨ生息地の草刈り・藻狩りに参加する (9月)
- ・個体数調査を行う(12月)
- ・山形大学の教授にお話を伺う
- ・地域の専門家の方にお話を伺う

## 3. 調査結果

### ①一年の流れ



### ②習性



### ③カクレトミヨに迫る危機

- ・平均気温の上昇、水不足
- ⇒陸の草が川や池を埋め尽くす→水草減少→生息域減少
- ・アメリカザリガニ等(特定外来生物)が住処を破壊
- ⇒水質汚濁、カクレトミヨの餌や稚魚が被食される

### ④藻刈り

9月に行われた藻刈りに参加  
カクレトミヨが住みやすい環境を作り、住処を壊さないように水面に近い藻を刈ることで、川に流れを作る



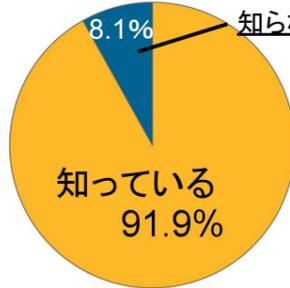
### ⑤個体数調査

罟仕掛け、罟回収に参加  
・小見川…罟数235個 捕獲数18尾 推定277尾 (前年度推定数683尾)

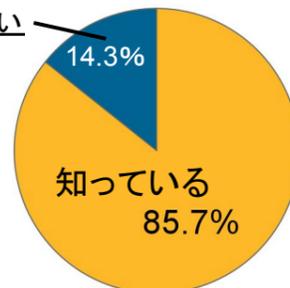
前年度に比べて、**捕獲数が激減**  
※カクレトミヨ以外に捕獲した生きもの  
・ドジョウ(在来種ドジョウ、外来種フクドジョウ)  
・アメリカザリガニ(外来種)・オタマジャクシ・小エビ

### ⑥アンケート調査 総数 38人→市役所に設置・回収

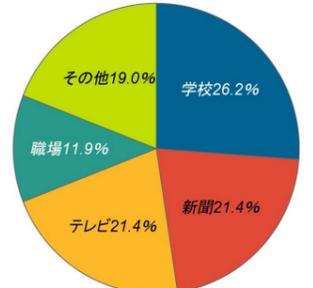
1 カクレトミヨを知っているか



2 「市の魚」という事を知っているか



3 カクレトミヨを知ったきっかけ(複数回答あり)



### ◎アンケート内の自由記述

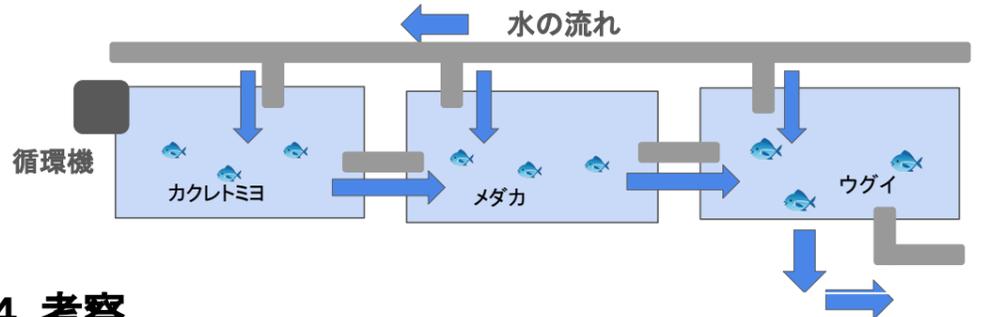
- ・名前しか知らない
- ・似ている魚との違いがわからない
- ・イバラトミヨの別種と認定されて、名前が変わったことを知らなかった

実際のアンケート用紙 →

### ↓アンケートを設置した様子



### ⑦大富小学校のカクレトミヨ飼育システム



## 4. 考察

考えられる大富小のカクレトミヨの卵が孵化しない理由

水温	大富小の水槽(通年14℃)と小見川(12℃)の平均水温が異なる
流水	水の停滞により卵にミズカビ類に感染した
外的要因	子供が水槽に手を入れている等

カクレトミヨの人工孵化に成功した専門家の方  
→人工孵化は人が24h付きっきりで行うため、大富小での人工孵化は不可能(卵についたカビの影響も大)

## 5. 今後の展望

- ・大富小へ水槽の水の循環についての改善策を提案
- ・広報活動について→マスコットキャラクターの作成

## 6. 参考文献

東根市.(2022).市の魚「カクレトミヨ」が制定されました！|東根市「よろこ果樹王国ひがしねへ」

<https://www.city.higashine.yamagata.jp/news/1557>.

2025年07月.